

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2014.1.9 No.140

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

1月23日告示・2月9日投票 都知事選挙勝利に向けて 宇都宮健児さんと希望のまち東京を!

宇都宮氏の都知事選政策 基本政策

- 1、世界一働きやすく、くらしやすい希望のまち東京をつくります。
- 2、環境重視、防災・減災重視のまち東京をつくります。
- 3、原発再稼働・原発輸出を認めず、原発のない社会と経済を東京からめざします。
- 4、教育現場への押し付けをなくし、いじめのない、子どもが生き生きと学べる学校をつくります。
- 5、安倍政権の暴走をストップし、憲法を守り、東京からアジアに平和を発信します。

記者会見する宇都宮健児さん
しんぶん赤旗より



医療法人「徳洲会」からの裏金疑惑で猪瀬前知事が辞職したことに伴い、東京都知事選挙（一月二十三日告示・二月九日投票）が行なわれます。日本共産党は、前日本弁護士連合会会長の宇都宮健児さんを推薦し、選挙を戦うことを決定しました。

日本共産党が推薦 勝利へ全力 杉並では勝手連を立ち上げ

杉並区でも6日、区内の様々な市民団体や住

民が集まり、都知事選挙勝利に向けた相談会を開催しました。

略歴

1946年、愛媛県生まれ。日本弁護士連合会前会長。社会のために働こうと弁護士を志し、68年に東京大学法学部を中退。83年に独立し、東京市民法律事務所を経営。多重債務、消費者金融問題の被害救済に尽力し、約6万超の悪徳業者を告発。反貧困ネットワーク代表、派遣村の名誉村長、脱原発法制定全国ネットワーク代表世話人。

杉並勝手連スケジュール

どなたでも参加できます。賛同される方は、お誘い合っご参加ください。

■キックオフ集会

1月17日（金）午後6時30分
産業商工会館

□事務局会議

1月11日（土）午後5時15分
阿佐谷地域区民センター第4会議室

□相談会

1月12日（日）午後5時30分
あんさんぶる荻窪第2会議室

◆宣伝行動

1月11日（土）午後3時～4時30分
阿佐ヶ谷駅南口
1月12日（日）午後3時～4時30分
荻窪タウンセブン前

杉並区でも勝手連（幅広い市民が自主的に共同して選挙を戦う）を立ち上げることを決定しました。日本共産党も参加し、超党派で支援することを表明しました。

これからの日本を占う選挙 安倍政権の暴走にストップを

都知事選挙は、全国が関心をもち、安倍政権の暴走に都民が審判を下す機会になります。また、石原・猪瀬両都知事時代に削減され続けてきた東京の暮らしと福祉を取り戻すことも重要な争点です。東京五輪の開催を名目に進められようとしている外環道計画などを始めとする大型開発の乱発を止める機会にもなります。東京から日本を変える選挙であり、都知事選挙勝利に向けて、全力を尽くします。

杉並区へ年頭の申し入れを実施 悪政からの防波堤の役割を果たすよう要請

申し入れ全文（HPにも掲載）

一月七日（火）、日本共産党杉並区議団は、杉並区への新年の申し入れを行ないました。申し入れでは、安倍政権のもとで強行される増税と社会保障の一体改悪の大幅負担増に対し、自治体が防波堤の役割を果たし、住民の暮らしと福祉を守るよう求めました。

また、認可保育園の増設、高齢者・障害者の福祉施設の大幅拡充、各種保険料の負担軽減、教育環境の整備など、十項目を要請しました。

現在、杉並区で大きな問題となっている区立施設再編整備計画と施設使用料の見直しについても、白紙撤回するよう求めました。



区議団で新年の申し入れ

杉並区長 田中 良 毅

2014年1月7日
日本共産党杉並区議団

2014年の新しい年を明けました。

今年は消費税の8%への増税や年金の切り下げ、70～74歳の医療費窓口負担の1割から2割への引き上げなど負担増計画が目白押しで、まさに「税と社会保障の一体改悪」が行われる年となります。国民だけでなく、多くの職者からも、このまま大負担増を押し付けば国民の生活苦に追い打ちをかけ、景気が底をつくという指摘が行われています。昨年の議会でも党区議団が調査・指摘してきたように、区民の負担はもう限界であり、そうした実態を目の当たりにする自治体からこそ、国の悪政にたいして声を上げるべきです。

しかし、この間の区は、こうした国の悪政を「注視」するばかりで、大負担増に歯止めをかけるどころか、区民の窮乏を国に訴えようとする姿勢もありません。さらには区立施設再編整備計画を断念し、杉並区民が賑々と発展を重ねてきた児童館やゆうゆう館の施設を段階的に廃止・転用し、また施設利用料を大幅値上げするなどの方針を打ち出し、区民生活を影を落とそうとしています。

杉並区は国の悪政から区民生活を守る防波堤の役割を果たすとともに、良好な住宅都市としてのまちづくりに務めねばなりません。その観点に立て、杉並区は現在重大な岐路に立っているという認識のもと、日本共産党杉並区議団は年頭にあたり、以下の重点施策を求めるものであります。

記

- 1、区民の窮乏を国に訴え、消費税増税、社会保障削減の中止を区として求めること、また当面の措置として生活困窮者にたいする住まいや健康、就労等の相談に、積極的に乗り出すこと。
- 2、区立施設再編整備計画は白紙撤回し、今後の区施設の在り方については区民や職員との懇談の場を設け、発展に努めること。
- 3、区立施設使用料等の見直しについても白紙撤回し、区民が使いやすい使用料という観点から区民の意見を聴取しなすこと。
- 4、認可保育園の待機児童問題は深刻な状況に陥っており、正確な実態をつかみ、その数に応じた具体的な増設計画を打ち出すこと。その際、公有地活用で最大限の努力を図ること。
- 5、現在、企業による保育園運営によって区内で重大な問題がいくつも発生している。指導監督を強め、現状の改善に区が積極的に取り組むこと。今後の増設の区は直営を基本としつつ、民間に任せるとは社会福祉法人とすること。
- 6、特養ホームを始めとする、ショートステイやグループホームなど高齢者福祉施設の整備計画を大幅に拡充すること。ここでも未利用公有地の活用に努力すること。
- 7、各障がい者に対応したショートステイやグループホームなどの施設整備計画を大幅に拡充すること。
- 8、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の値上げを行わないこと。介護保険料を含む各種保険料の負担軽減を行うこと。
- 9、住宅リフォーム助成制度を創設すること。
- 10、小中一貫教育の押し付けや、施設一体型一貫校による事実上の学校統廃合を中止すること。

以上

育メン日誌

2014年も家族一同
よろしくお願ひ致します！

育メン日誌も3年目です。本年も育メン日誌をよろしくお願ひします。

さて、昨年末には、家族揃ってスタジオに写真撮影に行きました。忙しさにかまけて、妹も含めた家族全員の写真を撮っていないことに気付き、大慌てで写真を撮りました。子どもたちの成長は早いので、一瞬一瞬を大切にしたいですね。良い記念になりました。



妹はおめかししていますが、お兄ちゃんの方は、必死に抵抗：（苦笑）そのために、お兄ちゃんには私服での撮影でした。お店の人の話では「男の子は、みんなこんな感じですよ（笑）」とのこと。次回に期待します。

新年から宣伝にも全力

日本共産党のさらなる前進に向けて



井草八幡宮前での元旦宣伝

2014年は都知事選挙に始まり、7月には区長・区議補欠選挙が行なわれるなど、選挙の一年となります。

2014年も日本共産党のさらなる前進を勝ち取るために宣伝活動にも力を入れています。本年もご協力をお願い致します。



吉田都議・区議団・上保まさたけ衆議院
東京八区予定候補で合同の新年宣伝